

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成25年8月22日(2013.8.22)

【公表番号】特表2009-537316(P2009-537316A)

【公表日】平成21年10月29日(2009.10.29)

【年通号数】公開・登録公報2009-043

【出願番号】特願2009-511456(P2009-511456)

【国際特許分類】

B 0 1 J 35/02 (2006.01)

B 0 1 J 27/198 (2006.01)

C 0 7 D 307/89 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

B 0 1 J 35/02 P

B 0 1 J 27/198 Z

C 0 7 D 307/89 A

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【誤訳訂正書】

【提出日】平成25年7月5日(2013.7.5)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 1】

反応管中に重ねて配置された 4 つの触媒層を有する、カルボン酸および／またはカルボン酸無水物を製造するための触媒系において、前記触媒層が

a) 無孔性および／または多孔性の担体材料上の最も低い活性の触媒からなる第 1 の触媒層、この場合、前記触媒は、全触媒に対して活性材料を 7 ～ 11 質量%有し、前記活性材料は、 V_2O_5 4 ～ 11 質量%、 Sb_2O_3 または Nb_2O_5 0 ～ 4 質量%、P 0 ～ 0.5 質量%、アルカリ（アルカリ金属として計算した）0.1 ～ 1.1 質量%および残分としてアナターゼ型の TiO_2 を含有しており、

b) 流れ方向に a) の次の層として配置された、無孔性および／または多孔性の担体材料上の触媒からなる第 2 の触媒層、この場合、前記触媒は、全触媒に対して活性材料を 7 ～ 12 質量%有し、前記活性材料は、 V_2O_5 4 ～ 15 質量%、 Sb_2O_3 または Nb_2O_5 0 ～ 4 質量%、P 0 ～ 0.5 質量%、アルカリ（アルカリ金属として計算した）0.1 ～ 1 質量%および残分としてアナターゼ型の TiO_2 を含有しており、

c) 流れ方向に b) の次の層として配置された、無孔性および／または多孔性の担体材料上の触媒からなる第 3 の触媒層、この場合、前記触媒は、全触媒に対して活性材料を 7 ～ 12 質量%有し、前記活性材料は、 V_2O_5 5 ～ 13 質量%、 Sb_2O_3 または Nb_2O_5 0 ～ 4 質量%、P 0 ～ 0.5 質量%、アルカリ（アルカリ金属として計算した）0 ～ 0.4 質量%および残分としてアナターゼ型の TiO_2 を含有しており、および、

d) 流れ方向に c) の次の層として配置された、無孔性および／または多孔性の担体材料上の触媒からなる第 4 の触媒層、この場合、前記触媒は、全触媒に対して活性材料を 8 ～ 12 質量%有し、前記活性材料は、 V_2O_5 10 ～ 30 質量%、 Sb_2O_3 または Nb_2O_5 0 ～ 4 質量%、P 0 ～ 0.5 質量%、アルカリ（アルカリ金属として計算した）0 ～ 0.1 質量%および残分としてアナターゼ型の TiO_2 を含有している、であって、

第 1 の触媒層 a) および第 2 の触媒層 b) を合わせた堆積厚の第 3 の触媒層 c) および第

4 の触媒層 d) を合わせた堆積厚に対する比が 1.5 ～ 1.8 であり、かつ、触媒系の全堆積厚が 2.5 ～ 4 m である、前記触媒系。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 4】

第 1 の触媒層 a) が全触媒堆積物の 30 ～ 50 % の厚さを有し、第 2 の触媒層 b) が全触媒堆積物の 18 ～ 25 % の厚さを有し、第 3 の触媒層 c) および第 4 の触媒層 d) がそれぞれ全触媒堆積物の 15 ～ 22 % の厚さを有する、請求項 1 から 3 までのいずれか 1 項記載の触媒系。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0027

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0027】

無水フタル酸を製造するための 4 層触媒系の好ましい実施態様によれば、

a) 無孔性および／または多孔性の担体材料上の最も低い活性の触媒は、全触媒に対して活性材料を 7 ～ 11 質量% 有し、前記活性材料は、 V_2O_5 4 ～ 11 質量%、 Sb_2O_3 または Nb_2O_5 0 ～ 4 質量%、 P 0 ～ 0.5 質量%、アルカリ（アルカリ金属として計算した）0.1 ～ 1.1 質量% および残分としてアナターゼ型の TiO_2 を含有し、

b) 直ぐ次の、流れ方向に配置された無孔性および／または多孔性の担体材料上の触媒は、全触媒に対して活性材料を 7 ～ 12 質量% 有し、前記活性材料は、 V_2O_5 4 ～ 15 質量%、 Sb_2O_3 または Nb_2O_5 0 ～ 4 質量%、 P 0 ～ 0.5 質量%、アルカリ（アルカリ金属として計算した）0.1 ～ 1 質量% および残分としてアナターゼ型の TiO_2 を含有し、

c) 直ぐ次の、流れ方向に配置された無孔性および／または多孔性の担体材料上の触媒は、全触媒に対して活性材料を 7 ～ 12 質量% 有し、前記活性材料は、 V_2O_5 5 ～ 13 質量%、 Sb_2O_3 または Nb_2O_5 0 ～ 4 質量%、 P 0 ～ 0.5 質量%、アルカリ（アルカリ金属として計算した）0 ～ 0.4 質量% および残分としてアナターゼ型の TiO_2 を含有し、

d) 直ぐ次の、流れ方向に配置された無孔性および／または多孔性の担体材料上の触媒は、全触媒に対して活性材料を 8 ～ 12 質量% 有し、前記活性材料は、 V_2O_5 10 ～ 30 質量%、 Sb_2O_3 または Nb_2O_5 0 ～ 4 質量%、 P 0 ～ 0.5 質量%、アルカリ（アルカリ金属として計算した）0 ～ 0.1 質量% および残分としてアナターゼ型の TiO_2 を含有し、

その際、アルカリ金属として、有利にセシウムが使用される。